海外店舗数

2022年4月7日

11

6

株式会社オートバックスセブン 代表取締役 社長執行役員 小林 喜夫巳

(コード番号:9832 東証プライム)

問い合わせ先:広報・I R部長 黒沢 康孝 (TEL 03-6219-8718)

2022年3月期 3月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

土日祝日日数	前年比(日)	-2	± 0	± 0	± 0	+ 1	- 1	± 0	+ 1	- 1	± 0	± 0	± 0	+ 1	+ 1	± 0	± 0	± 0	+ 1	± 0	+ 1
		21年3月	21年4月	21年5月	21年6月	21年7月	21年8月	21年9月	21年10月	21年11月	21年12月	22年1月	22年2月	22年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
国内売上高	全店前年比(%)	5.4	18.8	13.3	-3.6	-4.2	-12.0	-4.2	-0.7	-0.7	0.4	2.2	5.2	3.5	1.0	9.4	-6.9	-0.2	3.6	0.6	1.4
(全業態)	既存店前年比(%)	5.6	18.8	13.3	-3.7	-4.5	-12.1	-4.2	-0.9	-1.1	0.1	1.8	5.1	3.3	0.8	9.4	-7.0	-0.6	3.3	0.5	1.1
国内客数	全店前年比(%)	-2.6	8.9	-1.0	-5.1	-1.6	-13.2	-2.0	-2.9	-2.9	-2.9	-2.2	-3.8	0.3	-2.5	1.0	-6.0	-2.9	-1.8	-2.5	-2.4
(全業態)	既存店前年比(%)	-2.3	8.9	-1.0	-5.3	-1.9	-13.3	-2.1	-3.1	-3.3	-3.3	-2.6	-4.1	0.0	-2.7	1.0	-6.1	-3.2	-2.1	-2.6	-2.7
客単価(全業態)	既存店前年比(%)	8.0	9.0	14.3	1.6	-2.7	1.3	-2.2	2.2	2.2	3.5	4.5	9.5	3.2	3.6	8.2	-1.0	2.7	5.5	3.2	3.9

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)		21年3月	21年4月	21年5月	21年6月	21年7月	21年8月	21年9月	21年10月	21年11月	21年12月	22年1月	22年2月	22年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
主な商品群	タイヤ		9.9	20.8	6.1	-14.6	-2.8	-8.5	2.6	10.1	11.9	4.8	9.1	33.8	23.0	7.6	4.8	-3.2	8.2	19.8	0.7	11.8
	カーエリ	レクトロニクス	-3.3	31.6	27.7	-12.5	-27.4	-29.8	-23.3	-23.1	-33.4	-23.2	-9.9	-17.9	-14.7	-16.0	14.0	-26.9	-26.8	-14.1	-10.8	-21.0
	オイル		-0.5	14.6	9.3	-0.7	3.4	-4.5	0.9	-1.2	0.4	0.3	4.8	-0.7	3.7	2.3	7.5	-0.2	-0.1	2.7	3.5	1.2
	バッテリー		-1.1	-3.1	-4.2	-8.1	3.6	-4.2	-4.5	2.7	6.7	1.3	-1.9	19.0	6.1	1.2	-5.1	-2.0	3.3	6.2	-3.4	4.7
	アクセ	アクセサリー		13.6	3.3	-7.2	-2.0	-18.6	-8.7	-9.5	-13.5	-6.8	-6.4	-13.8	-9.8	-6.8	3.0	-10.2	-9.8	-9.9	-4.1	-9.9
サービス	サービス		11.5	19.7	12.1	-1.8	-0.9	-7.3	-1.4	-2.2	1.0	1.8	2.1	-1.1	0.6	1.7	9.9	-3.2	0.4	0.5	3.0	0.5
	車検・整備		13.7	16.4	11.6	3.2	5.7	2.7	2.4	-3.5	-0.8	-0.5	-1.1	-3.3	-5.7	1.7	9.9	3.6	-1.6	-3.6	6.6	-2.7
車買取・販	車買取・販売		11.4	23.2	71.9	28.7	15.8	-3.4	2.4	5.2	-3.3	7.7	18.2	8.3	7.9	11.9	38.4	4.7	3.0	10.5	18.2	6.8
		オートバックス				1					1	1			1	494	1	0	2	1	1	3
	スーパーオートバッ		フス													74	0	0	0	0	0	0
国内店舗数		オートバックスセコハン市場														6	0	0	0	0	0	0
		オートバックスエクスプレス														11	0	0	0	0	0	0
		オートバックスカーズ														3	0	0	0	0	0	0
		合計		0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	588	1	0	2	1	1	3

2022年3月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+3.3%、全店ベースで+3.5%。

売上増減要素:①タイヤ値上げ前の駆け込みやタイヤの履き替えによる需要増加でタイヤ・ホイールは金額・数量ともに前年超え。②半導体不足によりカーエレクトロニクスは低調。③オイルやバッテリーは3月から値上げを行ったものの、効果的な販売促進によ り金額前年超え。④土日祝日日数、前年比+1。

3

1

0

3

1

3

62

4

【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤ値上げ前の駆け込みやタイヤの履き替えによる需要増加に加え、品ぞろえや販売促進の施策が奏功し、夏タイヤに加えオールシーズンタイヤも二桁伸長。同時購入のホイールも好調で、タイヤ・ホイール全体は、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス:半導体不足によるカーナビゲーションをはじめとした商品調達の影響は低減しつつあるものの、新車減産の影響が強く、カーエレクトロニクス全体が減退し、金額前年割れ。オイル:原油高騰の影響を受けて3月から価格改定が行われたものの、効果的な販売促進によりプライベートプランドオイルや量り売りオイルが堅調で、金額・数量ともに前年超え。バッテリー:原材料高騰の影響で3月から値上げを実施。落ち込みが懸念されたものの、販売促進の強化により、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に堅調に推移し、金額・数量ともに前年超え。アクセサリー:客数減少と新車減産にともない車内小物、インテリアなどが低調で、金額前年割れ。メンテナンス:ワイパーやエアコンフィルターが好調に推移し、金額・数量ともに前年超え。カーリペア:洗車関連用品を中心に堅調で、金額前年並み。サービス:車検・整備は車検対象台数の減少基調により金額前年割れも、タイヤ販売の好調にともない、タイヤ・ホイール工賃を中心に伸長し、サービス全体では金額前年超え。車買取・販売:中古車の単価上昇や買取数量の好調を背景に業販が好調で、二桁伸長した前年を上回り、車買取・販売全体で金額前年超え。

- ・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。
- ・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。
- ・「全業態」は、オートバックス(Smart+1、オートバックスガレージ含む)、スーパーオートバックス(A PIT AUTOBACS含む)、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズです。

0

0

1

0

3

・土日祝日日数について、年末年始(12月29日~1月3日)は土日祝日日数としてカウントしています。

2021年4月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+18.8%、全店ベースで+18.8%

|**売上増減要素:**①タイヤの履き替え需要の増加と、車検対象台数の増加により前年超え。②前年4月は緊急事態宣言の影響を大きく受け売上ダウンも、本年4月の影響は限定的。③土日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤの履き替え需要により、夏タイヤおよびホイールが順調に推移し、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス: 引き続き部品製造工場火災による一部商品への影響はあるものの、ドライブレコーダーやナビゲーションが堅調に推移し、カーエレクトロニクス全体では金額・数量ともに前年超え。オイル:量り売りオイルが好調。また、昨年と異なり緊急事態宣言の影響も限定的であり、前々年と比較して落ち込みも少なく、金額・数量ともに前年超え。バッテリー:アイドリングストップ車用バッテリーが堅調だったものの、前年4月が過去の新車需要の追い風で好調だったことから、金額・数量ともに前年割れ。アクセサリー: 日除けやクッション、携帯電話関連など車内アクセサリー商品が堅調で、金額・数量ともに前年超え。メンテナンス: エアコンフィルターが好調。また、ゴールデンウィークに伴うアウトドア需要によりキャリアが伸長し、金額・数量ともに前年超え。カーリペア: 引き続き洗車用品およびキズ補修用品等が好調で、金額・数量ともに前年超え。サービス: タイヤ、カーエレクトロニクスの交換工賃などの増加とともに、車検・整備も前期下期からの車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超え。車買取・販売: 前月に続き業販が好調に推移し。金額・数量ともに前年超え。

2021年5月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+13.3%、全店ベースで+13.3%

売上増減要素:①前年5月は、緊急事態宣言に応じたメンテナンス中心の限定営業による影響を受けたが、本年5月の影響は限定的。②前年同時期に落ち込んだ車買取・販売、車検・整備は、新車販売の復調や車検対象台数の増加により前年超え。③土日祝日日 数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール:前年のゴールデンウィークとは異なりロングドライブ自粛の影響が限定的であったことから、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス:引き続き部品製造工場火災による一部商品への影響はあるものの、戦略的な商品調達を行い、販売促進を強化したドライブレコーダーやナビゲーションが復調。オイル:PBや量り売りオイルが好調。また、昨年と異なり緊急事態宣言の影響も限定的であり、前々年と比較しても金額・数量ともにプラス。バッテリー:前年がバッテリーの交換時期を迎える車両が増加した影響などで好調だったことから、先月に引き続き金額・数量ともに前年割れも、前々年比ではプラス。アクセサリー:天候の影響で日除けが低調だが、フロアマット、クッションや携帯電話関連は引き続き好調で、金額が前年超え。メンテナンス:例年に比べ梅雨入りが早かったことからワイパーが大幅に伸長し、金額・数量ともに前年超え。カーリペア:雨天が多かった影響で洗車用品が低調となったが、ガラス撥水剤など雨用の商品は好調。サービス:タイヤ、カーエレクトロニクスの交換工賃などの増加とともに、車検・整備も前期下期からの車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超え。車買取・販売:小売は新車販売の復調、業販は買取専門店での買取台数増加が寄与し、金額・数量ともに前年超え。

2021年6月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲3.7%、全店ベースで▲3.6%

売上増減要素:①前年6月に5月以前の外出自粛時の需要がずれ込み、車の利用が増加した反動で、タイヤを中心としたカー用品で前年割れ。②車買取・販売は前年同時期に商談件数が減少したことに加え、業販が回復基調にあり金額・数量ともに前年超え。③土 日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール:前年は5月以前のロングドライブ自粛の影響で需要が6月にずれ込み、車の利用が増加した反動も一因となり、金額・数量ともに前年割れ。カーエレクトロニクス:引き続き半導体不足による一部商品への影響はあるものの、戦略的な商品調達と管理で販売への影響を最小限にとどめている状態。しかし、前年6月末にあおり運転罰則強化により回復していたドライブレコーダーは反動により金額・数量ともに前年割れ。オイル:量り売りオイルが伸長し、全体ではほぼ前年同水準を維持。バッテリー:前年が過去の新車需要の追い風で好調だったことから、先月に引き続き金額・数量ともに前年割れ。アクセサリー:客数前年割れの影響を受け、カテゴリ全体で低迷。メンテナンス:梅雨入りが早かったものの、降水量が少なくワイパーが大きく前年割れ。カーリペア:洗車用品など、前年に巣ごもり需要があった反動で微減。サービス:タイヤ、カーエレクトロニクスの交換工賃などの減少により前年割れ。車検・整備は前月に引き続き車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超え。車買取・販売:小売は新車販売の好調、業販は店舗での買取成約台数増加により、金額・数量ともに前年超え。

2021年7月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲4.5%、全店ベースで▲4.2%

売上増減要素:①前年7月のあおり運転罰則強化に伴い好調だったドライブレコーダーや、定額給付金支給による需要増の反動により、カーエレクトロニクスが大幅前年割れ。②車買取・販売は前年同時期に商談件数が減少していた新車が今年は引き続き回復基調 で、金額・数量ともに前年超え。③土日祝日日数、前年比で1日増。

【商品別】タイヤ・ホイール:コロナ禍と猛暑の影響で車の利用頻度は上がったもののロングドライブ自粛の影響などにより、タイヤは金額・数量ともに前年割れ。カーエレクトロニクス:前年同時期にあおり運転罰則強化により好調だったドライブレコーダー は反動により金額・数量ともに前年割れ。また、引き続き半導体不足によるナビゲーションを主とした一部商品への影響はあるものの、戦略的商品調達により販売への影響を最小限にとどめている状態。オイル:車の利用頻度が上がったことと、店舗での販売促 進の効果もあり、金額・数量ともに前年超え。バッテリー:猛暑の影響で金額・数量ともに前年超え。特にナショナルブランドの高単価なバッテリーやアイドリングストップ車用バッテリーの販売が好調だった。

アクセサリー:日除けやサポートクッションが好調だったものの、客数前年割れの影響を受け、カテゴリ全体で低迷。**メンテナンス:**全国的な猛暑の影響でエアコンフィルターが好調だったものの、降水量が少なくワイパーが大きく前年割れ。

カーリペア:洗車用品など、前年に巣ごもり需要があった反動で微減。サービス:ドライブレコーダーを中心としたカーエレクトロニクスの交換工賃の減少により若干の前年割れ。車検・整備は前月に引き続き車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超 え。車買取・販売:小売は新車販売の好調、業販は買取成約台数増加により、金額・数量ともに前年超え。 2021年8月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲12.1%、全店ベースで▲12.0%

売上増減要素:①緊急事態宣言地域の拡大により帰省需要が低調であったことに加え、全国的に多雨で日照時間が少なかったことにより、客数に影響を受けた。②車検台数は、前期からの対象台数増加の市場動向により引き続きプラスで進捗。 ③十日祝日日数、前年比で1日減。

【商品別】タイヤ・ホイール:緊急事態宣地域の拡大の影響もあり、帰省需要の低下やロングドライブ自粛の影響などにより、タイヤは金額・数量ともに前年割れ。カーエレクトロニクス:前月同様、前年のあおり運転罰則強化により好調だったドライブレコーダーは反動により金額・数量ともに前年割れ。帰省需要の低下によりレーダーも不調。また、引き続き半導体不足によるナビゲーションを主とした一部商品への影響はあるものの、戦略的商品調達により販売への影響を最小限にとどめている状態。オイル:PBの量り売りオイルが好調だったものの、帰省需要の低下、ロングドライブ自粛の影響などにより金額・数量ともに前年割れ。バッテリー:アイドリングストップ車用バッテリーが好調だったものの、帰省需要の低下の影響もあり、金額・数量ともに前年割れ。アクセサリー:全国的に日照率が低かったことにより昨年好調だった日除け類が不調。また客数前年割れの影響を受け、カテゴリ全体で低迷。メンテナンス:全国的に降水量が多くワイパーが好調だったものの、電装部品やDIY関連商品は低迷。カーリペア:前年の巣ごもり需要の反動と、全国的に降水量が多かったことで洗車用品も低迷し不調。サービス:前月に続きドライブレコーダーを中心としたカーエレクトロニクスの交換工賃の減少により前年割れ。車検・整備は引き続き車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超え。車買取・販売:車買取および業販は堅調であったものの、新車・中古車ともに小売が低迷し、金額・数量ともに前年割れ。

2021年9月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲4.2%、全店ベースで▲4.2%

売上増減要素:①緊急事態宣言延長により客数・売上高ともに前年割れも、8月の落ち込みと比較すると回復傾向。②前年のあおり運転罰則強化で好調だったドライブレコーダーが反動により低調だった一方で、タイヤ・ホイールは4ヵ月ぶりに前年超え。オイル、車検、車買取販売も前年超え。③土日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール:8月まではコロナ感染拡大と長引く緊急事態宣言により、ロングドライブ自粛の傾向が続いていたため低調であったが、9月は4ヵ月ぶりに金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス:前月同様、前年のあおり運転罰則強化により好調だったドライブレコーダーは反動により金額・数量ともに前年割れ。また、引き続き半導体不足によるナビゲーションを主とした一部商品への影響はあるものの、戦略的商品調達により販売への影響を最小限にとどめている状態。オイル:プライベートブランドオイルが好調で、オイル全体で金額・数量ともに前年超え。バッテリー:引き続きアイドリングストップ車用バッテリーは好調も、全体では金額・数量ともに前年割れ。アクセサリー:客数減少と新車登録台数減少にともない車内小物、インテリアなどが低調。メンテナンス:全国的に降水量が少なくワイパーが低迷したものの、店頭での販売促進を強化したエアコンフィルターが好調。カーリペア:雨天が少なかったこともあり、洗車用品およびキズ補修用品等の売上が伸長。サービス:前月に続きドライブレコーダーを中心としたカーエレクトロニクスの交換工賃の減少により前年割れ。車検・整備は引き続き車検対象台数の増加により、金額・数量とも前年超え。車買取・販売:業販は買取専門店での買取が不調だったが、小売は中古車が好調で、金額では前年超え。

2021年10月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲0.9%、全店ベースで▲0.7%

売上増減要素:①カーエレクトロニクスが複数の要因で不調であった一方、タイヤは品ぞろえの強化や販売促進を実施したことに加え、中旬以降の気温低下によりスタッドレスタイヤが特に好調で、売上全体では前年同水準を維持。②車検・整備は、車検対象台 数減少の周期に入り、金額・数量ともに前年割れ。③土日祝日日数、前年比で1日増。

【商品別】タイヤ・ホイール: 品ぞろえの強化や販売促進を実施したことに加え、中旬以降の気温低下によりスタッドレスタイヤが好調で、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス: 前年のあおり運転罰則強化により好調だったドライブレコーダーは反動により金額・数量ともに前年割れ。また、引き続き半導体不足によるナビゲーションを主とした一部商品への影響はあるものの、戦略的商品調達により販売への影響を最小限にとどめている状態。オイル: プライベートブランドオイルや量り売りが好調も、オイル全体では金額・数量ともに若干の前年割れ。バッテリー: 中旬以降の気温低下により需要が増加。ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーが好調で金額では前年超え。アクセサリー: 客数減少と新車登録台数減少にともない車内小物、インテリアなどが低調。メンテナンス: 引き続きエアコンフィルターが好調なことに加え、中旬以降はジャッキやレンチなどのタイヤ交換用品の需要が増加し、金額では前年超え。

カーリペア:洗車用品が好調で金額では前年超え。**サービス:**タイヤ販売が伸長したことによりタイヤ・ホイール工賃が増加したが、前月に続きドライブレコーダーを中心としたカーエレクトロニクスの交換工賃の減少により金額が前年割れ。車検・整備は車検 対象台数減少により、金額・数量ともに前年割れ。**車買取・販売:**半導体不足の影響により新車販売が不調であった一方で、中古車販売は好調。業販も好調で金額では前年超え。

2021年11月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで▲1.1%、全店ベースで▲0.7%

売上増減要素:①半導体不足の影響などによりカーエレクトロニクスが低調であった一方、11月中旬以降の気温低下によりスタッドレスタイヤが好調で、売上全体では前年同水準を維持。②11月中旬以降の冷え込みにより、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーが好調。③十日祝日日数、前年比で1日減。

【商品別】タイヤ・ホイール: 品ぞろえや販売促進を強化したことに加え、中旬以降の気温低下により、特にスタッドレスタイヤが好調。セット販売を強化しているホイールも二桁伸長で、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス: 半導体不足によるカーナビゲーションをはじめとした商品調達による直接的影響に加え、新車の減産にともないカーエレクトロニクス全体の需要が減少したことなどにより金額・数量ともに前年割れ。オイル: プライベートブランドオイルや量り売りが好調で金額では前年超え。バッテリー: 11月中旬以降の気温低下により、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーが好調で金額・数量ともに前年超え。アクセサリー: 客数減少と新車の減産にともない車内小物、インテリアなどが低調。メンテナンス: エアコンフィルターが引き続き好調なことに加え、気温低下によりタイヤチェーンが二桁伸長。また、ジャッキやレンチなど、タイヤ交換用品の需要が増加し、金額では前年超え。カーリペア: 11月中旬以降の気温低下により、解氷剤・スノーブラシ等は好調だったものの、前年好調だった洗車メンテナンス需要の反動により金額・数量ともに前年割れ。サービス: カーエレクトロニクスの交換工賃が減少したものの、タイヤ販売の好調によりタイヤ・ホイール工賃が増加し、金額・数量ともに前年超え。車検・整備は車検対象台数減少により、金額・数量ともに前年割れ。車買取・販売: 車買取による業販が好調だったものの、半導体不足の影響により新車販売が低調で、金額・数量ともに前年割れ。

2021年12月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+0.1%、全店ベースで+0.4%

売上増減要素:①夏タイヤの好調に加え、12月下旬からの寒波や降雪の影響によるスタッドレスタイヤの需要増加とタイヤチェーンの二桁伸長などにより、売上全体は前年超え。 ②半導体不足の影響により、カーエレクトロニクスの低調が続く一方、車買取・ 販売は、単価上昇などにより金額前年超え。 ③十日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール: 品ぞろえや販売促進を強化したことで、夏タイヤやオールシーズンタイヤが好調であったことに加え、12月下旬は寒波や降雪によりスタッドレスタイヤの需要が増加し、タイヤ全体で金額前年超え。カーエレクトロニクス: 半導体不足によるカーナビゲーションをはじめとした商品調達による直接的影響に加え、新車の減産にともないカーエレクトロニクス全体の需要が減少したことなどにより金額前年割れ。オイル: プライベートブランドオイルや量り売りが堅調で、金額前年超え。バッテリー: 12月下旬の寒波による需要増加もあり、ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に堅調に推移し、金額前年超え。アクセサリー: 客数減少と新車の減産にともない車内小物、インテリアなどが低調。メンテナンス: 寒波や降雪の影響により、タイヤチェーンが二桁伸長。エアコンフィルターも引き続き好調なことに加え、キャリアも伸長し、金額前年超え。カーリペア: 前年好調だった洗車関連用品の反動減などにより金額前年割れ。サービス: タイヤ販売の好調によりタイヤ・ホイール工賃が増加し、金額前年超え。車検・整備は車検対象台数の減少基調により、金額前年割れ。車買取・販売: 引き続き半導体不足による新車減産の影響あるものの、中古車の単価上昇などにより小売・業販ともに金額前年超え。

2022年1月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+1.8%、全店ベースで+2.2%。

売上増減要素:①夏タイヤの好調に加え、寒波や降雪の影響によるスタッドレスタイヤの需要増加により、売上・数量ともに前年超え。②半導体不足の影響によるカーエレクトロニクスの不調は回復傾向。また、車買取・販売は、単価上昇などにより金額・数量 ともに前年超え。③土日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール: 品ぞろえや販売促進の施策が奏功し、夏タイヤやオールシーズンタイヤが好調に推移したことに加え、寒波や降雪によりスタッドレスタイヤおよびホイールも好調で、金額・数量ともに前年超え。カーエレクトロニクス: 半導体不足によるカーナビゲーションをはじめとした商品調達による直接的影響は底を脱しつつあり、カーエレクトロニクス全体で回復傾向にあるものの、金額前年割れ。オイル: プライベートブランドオイルや量り売りオイルが好調で、金額・数量ともに前年超え。バッテリー: ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に堅調に推移したものの、二桁伸長した前年に届かず、金額前年割れ。アクセサリー: 客数減少と新車減産にともない車内小物、インテリアなどが低調で、金額前年割れ。メンテナンス: エアコンフィルターが好調に推移。タイヤチェーンは降雪により需要増加したものの、倍増した前年には届かず、金額前年割れ。カーリペア: 前年好調だった洗車関連用品の反動減などにより、金額前年割れ。サービス: タイヤ販売の好調にともないタイヤ・ホイール工賃が二桁伸長で推移し、金額前年超え。車検・整備は車検対象台数の減少基調により、金額前年割れ。車買取・販売: 半導体不足による新車減産の影響が続いたものの、中古車の単価上昇や買取数量の好調を背景に、業販は金額・数量ともに二桁伸長。

2022年2月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上比は既存店ベースで+5.1%、全店ベースで+5.2%。

|**売上増減要素:**①寒波や降雪によりスタッドレスタイヤ、タイヤチェーン等の冬季商品が大幅伸長。②半導体不足によりカーエレクトロニクスは低調。③バッテリーは3月からの値上げ前の駆け込み需要などで二桁伸長。④土日祝日日数、前年比±0。

【商品別】タイヤ・ホイール:寒波や降雪によりスタッドレスタイヤが倍増し、同時購入によるホイールも好調。加えて、品ぞろえや販売促進の施策が奏功し、夏タイヤやオールシーズンタイヤも堅調で、金額・数量ともに大幅伸長。カーエレクトロニクス:半導体不足によるカーナビゲーションをはじめとした商品調達の直接的影響は低減しつつあるものの、新車減産および降雪需要への対応が集中したことなどによりカーエレクトロニクス全体が減退し、金額前年割れ。オイル:プライベートブランドオイルや量り売りオイルが堅調で、オイル全体では前年並み。バッテリー:ハイブリッド車やアイドリングストップ車用のバッテリーを中心に堅調に推移したことに加え、3月からのバッテリー値上げによる駆け込み需要などにより、金額・数量ともに二桁伸長。アクセサリー:客数減少と新車減産にともない車内小物、インテリアなどが低調で、金額前年割れ。メンテナンス:寒波や降雪によるタイヤチェーンが倍増したことに加え、ワイパーも好調で、金額・数量ともに二桁伸長。カーリペア:前年二桁伸長した洗車関連用品の反動減などにより、金額前年割れ。サービス:タイヤ販売の好調にともないタイヤ・ホイール工賃は伸長したものの、車検・整備で車検対象台数の減少基調の影響を受けたことにより、サービス全体では金額前年割れ。車買取・販売:半導体不足による新車減産の影響が続くも、中古車の単価上昇や買取数量の好調を背景に業販は金額で二桁伸長し、車買取・販売全体で金額前年超え。